

第 38 回

地域産学官と技術士との合同セミナー

主催：公益社団法人 日本技術士会

後援：国土交通省北海道開発局、経済産業省北海道経済産業局、
環境省北海道地方環境事務所、北海道、札幌市、
国立研究開発法人土木研究所寒地土木研究所、
一般社団法人建設コンサルタンツ協会北海道支部

テーマ

超スマート社会(Society5.0)へ向けて、 技術士が果たすべき役割を考える

—人工知能(AI)が創る未来について—

日時：平成 31 年 2 月 25 日 (月) 13:30~17:20

会場：ホテルモントレエーデルホフ札幌 12 階ルセルナ
住所 北海道札幌市中央区北 2 条西 1 丁目 1 番地
Tel 011-242-7111

※会場までのアクセスには公共交通機関をご利用ください。
JR 札幌駅南口より徒歩 7 分。
地下鉄さっぽろ駅 22 番出口より徒歩 2 分。

○参加のご案内

参加費：技術士有資格者で技術士会会員 1,000 円、会友 1,500 円、非会員 2,000 円
一般の方及び CPD 無料参加券持参の技術士・技術士補は無料
(無料券使用は事前申込の先着 20 名様のみ)
(情報交換会は別途 3,000 円 場所は同ホテル内にて 17:30~19:00)

申し込み先：下記へ E メールまたは Fax にて、セミナー、情報交換会別の参加と氏名
連絡先等を添えてお申し込みください。

札幌市厚別区厚別中央 1 条 5 丁目 4-1 Docon 新札幌ビル
公益社団法人 日本技術士会北海道本部 事務局 (長谷川、岸本)
E-mail: uketsuke@ipej-hokkaido.jp、FAX: 011-801-1618

申込締切日：平成 31 年 2 月 18 日(月)
(但し、定員 120 名になり次第締め切りますので予めご了承ください)

※技術士会会員以外の方の参加も歓迎いたします。

開催主旨

人類は、狩猟社会(Society1.0)から始まり、インターネットの普及による情報社会(Society4.0)を20～30年間経て、現在、新たな社会、超スマート社会(Society5.0)へ突入しようとしています。ディープラーニングを伴う人工知能(AI)は、画像認識が可能となり、コンピュータやロボットが視力を持つことで、これまで自動化の進まなかった農業、建設等の既存分野の自動化も期待されております。

一方、人間にしかない「感情」「想像」「人と関わることで生まれる経験」などは、AI(人工知能)が持つことができない領域です。人間は、森の木々のように全ての経験に根を張り、課題がふりかかった時に最善の方法を組み立てる事が出来ます。AIにできることと人間にしかできないこと、我々人類の役割も今後変化を迫られると考えられます。本セミナーでは、人工知能(AI)の現状、将来展望をご講演頂き、我々技術士が超スマート社会を理解し、今後、我々技術士が果たすべき役割について考えたいと思います。

講演プログラム

- 13:30～13:35 開会挨拶 日本技術士会北海道本部 本部長 森 隆広
- 13:35～14:00 主催者挨拶及び技術士制度の見直しについて
日本技術士会 専務理事 奈良人司
- 14:00～15:00 人工知能の現状 ー何が出来て、何が出来ないのかー
北海道大学大学院情報科学研究科 准教授 博士 山下倫央
- 15:00～15:40 札幌市の産業振興施策における AI への取組み
札幌市 経済観光局 国際経済戦略室
IT・クリエイティブ産業担当課長 瓦本一大
- 15:40～15:55 休 憩
- 15:55～16:35 顧客の課題解決のための AI(人工知能)開発事業
(株)テクノフェイス 代表取締役 博士 石田 崇
- 16:35～17:15 深層学習による吹雪視程障害の検知
国立研究開発法人土木研究所 寒地土木研究所
寒地道路研究グループ 雪氷チーム 上席研究員 高橋丞二 技術士
- 17:15～17:20 閉会挨拶 日本技術士会北海道本部 事業委員長 飯野将徳

17:30～19:00 情報交換会

(※上記のセミナー内容は、事情によっては一部変更になることがありますので予めご了承下さい。)

第 38 回地域産学官と技術士との合同セミナーに参加申し込みます。 FAX:(011)801-1618

所 属 _____

お名前 (ふりがな) _____

連絡先 TEL: _____ メールアドレス: _____

↓いずれかに○を付けて下さい

参加区分 (技術士会会員、会友、非会員、一般の方、CPD 無料参加券持参の技術士)

【 セミナー 】 出席 ・ 欠席 (どちらかに○を付けてください)

【 情報交換会 】 出席 ・ 欠席 (どちらかに○を付けてください)

いただいた個人情報は以下の目的に利用します。

- ・地域産学官と技術士との合同セミナーに関する参加登録
- ・参加登録された情報に関する確認、連絡、問い合わせ、回答
- ・講演会、セミナー、その他イベントに関する案内、回答
- ・技術士、技術士制度、日本技術士会に関する案内、回答